

ご近所おむすびサポーター



今、地域の中で課題となっている孤立や孤独。一人暮らしの高齢者や子育て中のお母さんだけでなく、家族と一緒に暮らしていても引きこもっている人など、私たちにとって身近で、身につまされる問題です。

ご近所おむすびサポーターは、そんな地域の中で、あらためて人と人とのつながりを作っていくこととする方々のお気持ちを後押しする活動です。

ご近所おむすびサポーターって？

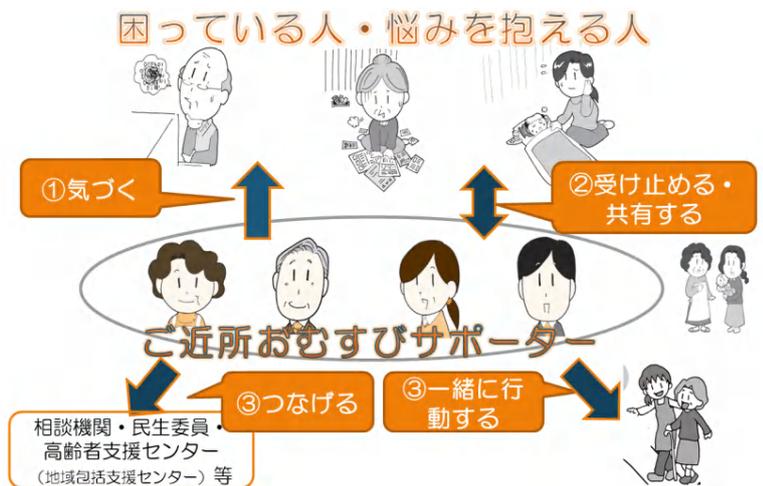
名前の由来は、人と人をつなげるお手伝いをする人（＝お結び）です。温かい手でぎゅっと握ってくれたぬくもり溢れる“おむすび”も併せてイメージしています。ご近所おむすびサポーターは、専門的な研修や知識を持った特別な人の資格ではなく、誰もが担える活動です。「ご近所おむすび」につながるキーワードは3つです。

3つのキーワード

- ①気づく ②受け止める・共有する ③つなげる・行動する

- 「お隣のおばあちゃん、最近みかけないなあ、具合が悪いのかしら？」と**気づく**こと。
- 「あら、それは大変ですね。何かお困りのことはありませんか？私にできることがあれば…」と**受け止める**こと。
- 「そのことを、どこに相談したらよいか調べてみましょうか？」と**つなげる・一緒に行動**すること。

どなたでも、自分のできる範囲でできることをしていただくことで、人と人とのつながりが育まれていきます。例えば、自治会活動へ参加すること等はご近所の結びつきを深めることにつながると考えます。



メッセージカードを書こう！

皆さんからご近所の助けあいとして「～ならできるかも」といったお気持ちや、「～してあげました」、「～に気を配っています」といった体験談を募集しています。カードをご提出いただいた方には特製バッジを差し上げます。バッジは、ご近所おむすびサポーターのお気持ちを表す「しるし」です。身につけていただくことで、少しずつでもサポーターの輪が広がっていけばと願っています。



バッジ

マンションの自治会に参加していますが、積極的にコミュニケーションを深めていきたいと思っております。

ご近所で認知症になったおばあちゃんに対して、私たちご近所のことが分からなくなっても今まで通りお声掛けすることを心がけています😊

(お寄せいただいたカードは、市社協のホームページや市立あじさい会館ロビー等で掲示します。)

社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 電話：042 (730) 3888 FAX：042 (759) 4382



相模原市ホームタウンチームは、ご近所おむすびサポーターを応援しています。